

かとう秀彦 ひで ひこ

市政の原点、それは ——
徹して一人のために!



対話と行動で地域の声を市政へ

明日の田川市づくりに **かとう秀彦** のチャレンジ!!

行財政



安心・安全の街づくりを推進します

- 財政分析の徹底
- 行政の透明化や効率化に努めます

文化・教育



- 豊かな心を育む文化芸術活動を推進
- 中学校給食実施を推進
- 小・中学校に冷暖房設備を推進

産業・経済



- 農産物の生産性向上、ブランド化の推薦
- ベンチャー企業の育成、雇用を創出
- 定住人口の推進

医療・福祉



- 田川地域の医療拠点である市立病院の経営安定化を目指す
- 各種検診の受診率の向上を推進
- 胃がんの原因であるピロリ菌検診を推進
- 高齢社会に適応した福祉を充実する

都市づくり



- 公共エリアのバリアフリー化を進める
- 防災・災害に強い都市をつくる



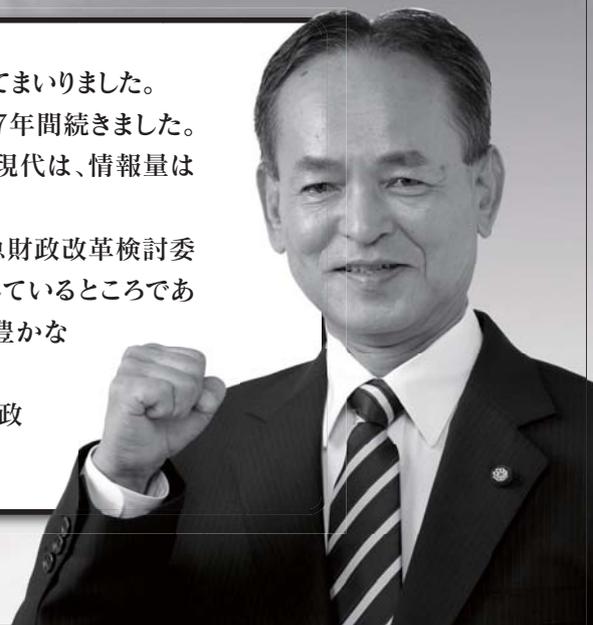
かとう秀彦 ひで ひこ ころ豊かな輝く田川へ このまち

4期16年間、皆様方への感謝と原点を忘れず、使命感を燃やし今日まで走ってまいりました。

かつて、日本のエネルギーを支えた筑豊炭田のひとつ、わが田川市は47年間続きました。産炭地域時限立法もほぼ終結し、新たな歴史の分岐点に立っております。現代は、情報量は豊富にあり、むしろ何を選択するかが問われる時代ともいえます。

多くの自治体が厳しい財政に直面しております。本市におきましても、緊急財政改革検討委員会を設置して今後5年間の財政運営計画を立て、節減目標を実行に移しているところであります。この財政危機をチャンスととらえ、市民と行政が一体となり”ころ豊かな輝くまち”にしなくてはなりません。

これからも、多く課題に果敢に取り組み、現場第一主義で市民の声を市政に生かし、繊細にまた大胆に全力で取り組む決意です。



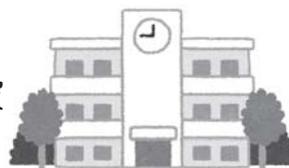
一人一人の声を市政に

かとう秀彦のこれまでの主な実績!

- 市のマスコットキャラクター「たがたん」の提案・実現
- 田川のシンボル“二本煙突”のライトアップ
- 伊田小・後藤寺小に太陽光発電を設置
- 放課後児童健全育成事業で春休み、冬休みを開設
時間延長も実施
- 小・中学校に朝の10分間読書を実施
- 市民プール新設を推進実現
- 通学路の危険箇所信号機と安全帯を設置
- 中央団地に広場外柵を新設
- 水面占用条例を改正し、一般家庭の更新手続き
保証人等の負担軽減を実施
- 耳の不自由な方への補聴器の助成金拡充
- 選挙の際に送られてくる入場券の裏面に期日前投票の宣誓書の印刷実現



▲ライトアップされた二本煙突



かとう秀彦

プロフィール

- 加藤秀彦(かとう ひでひこ)
- 昭和24年10月生まれ
- 昭和40年3月 添田町立英彦中学校卒業
- 昭和43年3月 飯塚高校卒業
- 昭和45年3月 北九州短期大学法律科卒業
- 平成11年4月 田川市議初当選(現4期)
- 副議長 ●党県幹事 ●党筑豊総支部幹事長